



## 全国学力・学習状況調査からみえてきたもの(その2)

今年度4月、3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」として、「教科に関する調査」(国・数)と「生徒質問紙調査」を実施しました。その集計結果からみられる本校生徒の特徴について報告します。前号での「教科に関する調査」(国・数)に引き続き、今回は「生徒質問紙調査」を中心に、ご報告させていただきます。今後の学習や生活に活かしてください。

### 【全国学力・学習状況調査「生徒質問紙調査」の結果より】

「学習や生活についてのアンケート」から見られる本校生徒の特徴

#### 【全国平均との比較】

《全国平均よりポイントが高い項目》(◎：非常に高い、○：高い)

- ◎1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。
- 将来の夢を持っていますか。
- 学級活動における学級の話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか。
- 毎日、同じくらいの時間に寝ていますか。

《全国平均よりポイントが低い項目》(●：非常に低い、▲：低い)

- 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマホ等でSNSや動画視聴などをしますか。(※本校生徒は3時間以上の割合が全国平均よりかなり多い)
- ▲普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、ゲーム(テレビゲーム、コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマホを使ったゲーム)をしますか。(※本校生徒は3時間以上の割合が全国平均より多い)
- ▲1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師、インターネット活用を含む) (※本校生徒は2時間以上勉強している割合が全国平均より少ない)
- ▲数学の授業の内容はよく分かりますか。
- ▲1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。

#### 【経年的な視点】

- PC・タブレットなどの使用機器を活用している。  
→ICT機器を使用することが習慣化してきている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う・人の役に立つ人間になりたいと思いますか  
→例年高い数値。人を大切にしたいという人権意識を持っている生徒が多い傾向がある。
- 朝食を食べていますか。毎日、同じくらいの時間に寝ていますか・起きていますか。  
→生活リズムが整っている生徒が多い傾向がある。

#### 【本校の強み】

本校の最大の強みは、PC・タブレットなどのICT機器の活用が充実しているところです。ICT機器を使用することが習慣化してきており、全国平均よりもはるかに高い数値を示しています。今後も授業において意見発表や資料作成等にタブレットを十分に活用できている強みをさらに伸ばし、情報活用能力の育成や思考力・判断力・表現力の向上に力を入れていきたいと考えています。

また、生活面においては基本的な生活習慣が身につけており、決まった時刻に起床・就寝をしている生徒が多いことがわかります。そして将来の夢を持つ生徒が多く、学級活動における学級の話合い

を通して、自分がしなくてはならないことを理解し、取り組もうとする姿勢が見られます。

さらに約9割の生徒が「人が困っているときに進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている」「友達関係に満足している」と答えており、思いやりのある生徒が多いことがうかがえます。

#### 【本校の弱み】

家庭においてスマホ等で SNS や動画視聴などをしている時間やゲームをしている時間が全国平均よりも多い傾向がみられます。また、それに関連して、平日、休日ともに家庭学習の時間は全国平均よりも少ない傾向がみられます。その対策として SNS の適切な使用を促す指導を強化するとともに本校独自で採用している『Selfup Diary』やタブレット（「ミライシード」等）を活用した家庭学習の定着に一層取り組んでいきたいと考えます。

また、新聞を読む生徒が少ないことから、社会の情勢に興味を持つ機会や読解力を身につける機会が減っていることも懸念されます。新聞や電子図書の活用等の取り組みを進めていきたいと思えます。さらに、どの学年にも友人関係のトラブルが発生している現状があるため、コミュニケーションスキルを高めることも必要です。2年前から「笹っこタイム」を実施し、コミュニケーションスキルの向上や仲間づくりの推進、自己肯定感を高めることを目的とした取り組みを行っていますが、今後も継続して取り組みを充実させていきます。

前号でもお伝えしたように、各教科において授業改善に向けての取り組みを進めてまいります。

#### 【地域・家庭への協力体制及び具体的方策】

本校校区内にある郷土資料館関係者を講師とした講演会や、地域の図書ボランティアの方による朝の読み聞かせ、地域の企業等への職場体験の受け入れなどをお願いしています。また、地域と協働した地域清掃も行っています。今後もコミュニティースクールの方々とも協議し、地域に根ざした学校づくりを推進していきます。家庭や地域に学年通信や学校通信、ホームページ等で学校の様子を発信しながら、家庭と連携し子どもの確かな学力と健やかな成長を目指して学校・家庭・地域が協働して教育を進めていきたいと考えています。そして、場合によっては専門家や関係機関とも連携し、チーム学校として対応していきたいと思えます。さらに H&S の配信を活用し、迅速な対応をしていきたいと考えています。

#### 【家庭学習の定着や今後について】

##### ① 家庭学習の定着・工夫について

本校独自で採用している『Selfup Diary』を活用し、学校と自宅をつなぐツールの手段として活用しています。この冊子は、家庭学習を毎日取り組むために用いられ、自宅で授業や復習教材などを活用し、家庭学習が習慣化されることを目的としています。生徒は予定帳の横に自己記録を記載すると同時に、下半分には家庭学習の内容を記入してくるため、翌朝に全員がノートを提出し、各学年の教師でチェックをし、評価を行っています。また月に1度、評価した中でも模範的な内容については校内に掲示し、評価をしています。

また、タブレットを活用して「ミライシード」や「NHK for school」などを活用・視聴し、学校だけでなく家庭でも行える教材を活用しています。今後は、タブレットをさらに活用した取り組みを進めていきたいと思えます。

##### ② 補充学習について

毎日の帰りの会前の10分間を利用し、Basic 学習として全学年5教科の復習を行っています。1年生においては5科を復習するために独自教材を用いたり、「学んで E-net!」を活用したりしています。2、3年生においては「ミライシード」を活用した補充学習を取り入れたり、入試を意識した教材を活用したりして、学力の定着を図るための学習方法を取り入れています。今後も各学年とも計画的に学習に取り組む指導を充実させたいと思えます。

また、夏季休業中を利用して、基礎学力の定着を図るために学習会・質問会を全校体制（学年別）で設けています。生徒は自主的に登校し、できない問題をできるように努力しており、教員が意欲的に生徒に対して学習支援をしています。

最後に、今後も基礎学力の定着を図るためにさらに工夫を重ね取り組むとともに、キャリア教育を推進し、夢と志を持たせる指導に力を入れていきます。そして「安全・安心で居心地のいい学校」をめざします。